

## 医学研究科倫理審査委員会議事要旨

日 時：平成 20 年 1 月 16 日（水） 午後 2 時～午後 4 時

場 所：医学部非常勤講師控室

出 席：徳留信寛 委員長、木村玄次郎 副委員長、横山信治 委員、森田明理 委員、水谷隆治 委員、森 哲彦 委員、脇田恵美子 委員

欠 席：古川壽亮 委員、山下啓子 委員、内藤能房 委員

### 1 審議案件

#### (1) 受付番号：321

研究課題名：吸入酸素濃度の動脈血—呼気終末二酸化炭素分圧較差への影響

申 請 者：危機管理医学（集中治療部）病院准教授 伊藤彰師

##### ① 審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・全身麻酔を必要とする手術中に、重要な要因である吸入酸素濃度を変化させる実験的研究を行うという状況を鑑みると、研究自体のリスクは高くないとしても、相当説得力のある本研究の必然性、意義を明らかにする必要がある。
- ・大きな手術に臨もうとしている患者の立場に十分配慮し、通常の手術との違いなどを丁寧にわかりやすく説明する必要がある。
- ・実施する場合には、手術チーム内で十分な合意を得た上で行う必要がある。
- ・健康被害、知的所有権、費用負担に関する説明を適正に修正すること。

##### ② 結論

上記指摘に基づき申請書を修正することを勧告する。修正申請書の提出後、再審査を行う。

#### (2) 受付番号：314

研究課題名：思春期少年のメンタル・ヘルスおよびプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する社会医学研究

申 請 者：公衆衛生学 講師 鈴木貞夫

##### ① 審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

審査の結果、以下の点について指摘があった。

- ・研究内容をアカデミック的な視点から見直し、科学的な枠組みを明確にすることが望ましい。
- ・研究期間は当面 2 年程度とすること。ただし、必要に応じて延長申請をすることは妨げない。
- ・研究者の危険を回避するための方策を定量的、具体的に示すことが望ましい。

- ・深夜の調査活動にあたっては法令の規定を十分把握しておくこと。

② 結論

上記指摘に基づき申請書を修正することを勧告する。修正申請書の提出後、再審査を行う。

(3) 受付番号 : 326

研究課題名 : 術前消化器疾患患者の Health Literacy の構造とプロセスの解明

申請者 : 看護学部 教授 明石恵子

① 審査の概要

申請者から研究内容について説明を受け、質疑応答を行った。

委員から、以下の点について指摘があった。

- ・研究方法、データ分析方法をわかりやすく説明すること。
- ・連結可能匿名化とする理由を明確にすること。
- ・研究終了後のデータ、記録等の取扱いを明示すること。
- ・説明書中、英語表記には和訳または注釈をつけること。また、不適切な部分は削除すること。

② 結論

上記指摘に基づく修正申請書が提出された後、持ち回り委員会により判定を行う。